

過去に作図した図面をeE-CAD10で印刷する際の手順

主にeE-CAD8.6、eE-CAD7.5で作図したデータを、eE-CAD9.5以上のバージョンで開いて印刷する場合の手順です。

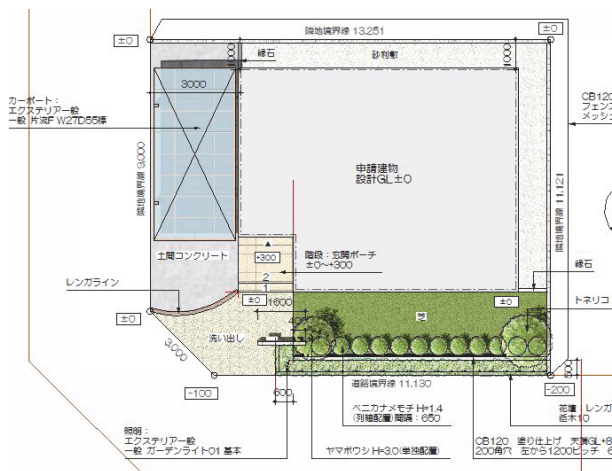
eE-CAD8.6以前のバージョンとeE-CAD9.5以降のeE-CADではレイヤ階層と各レイヤの表示方法が異なります。

平面図をeE-Painterでレンダリングして作図されている場合は、ユニットの各図形のラインが消えて表示されます。

eE-CAD9.6以降のバージョンで印刷する場合は、下記の手順で調整を行ってください。

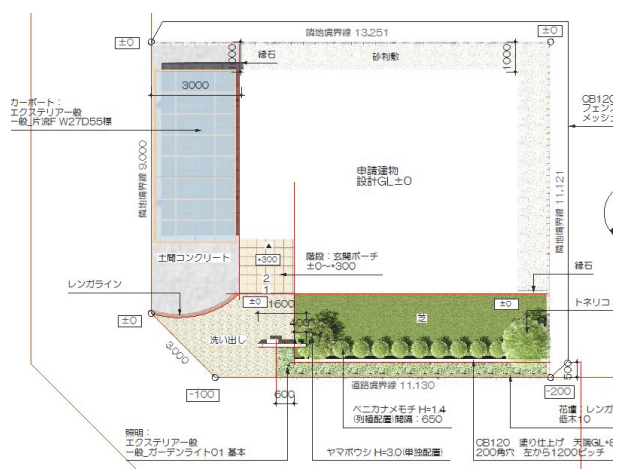
eE-CAD8.6以前で作成した図面を...

eE-CAD8.6以前で開いた場合



ユニットレイヤの線が平面図の画像の上に
表示されています。

eE-CAD9.5以降で開いた場合



ユニットレイヤの線が平面図の画像の下に
表示され、見えなくなっています。

①平面画像を画像レイヤへ移動



「注釈レイヤ」から
「画像レイヤ」へ
平面画像を移動

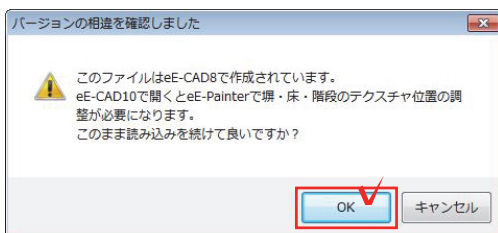
eE-CAD8.6以前に作成したデータでは、
画像が「注釈レイヤ」に配置されています。
これを「画像レイヤ」へ移動します。



新バージョンではレイヤ構成が変更さ
れています。詳細は下記。



P3-130 レイヤの前後関係

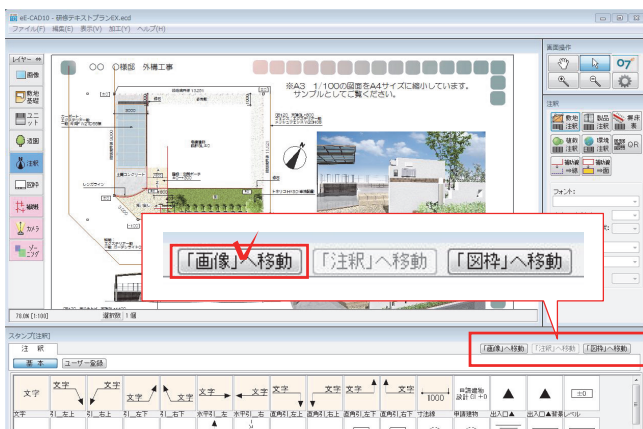


①-1：データを開きます。

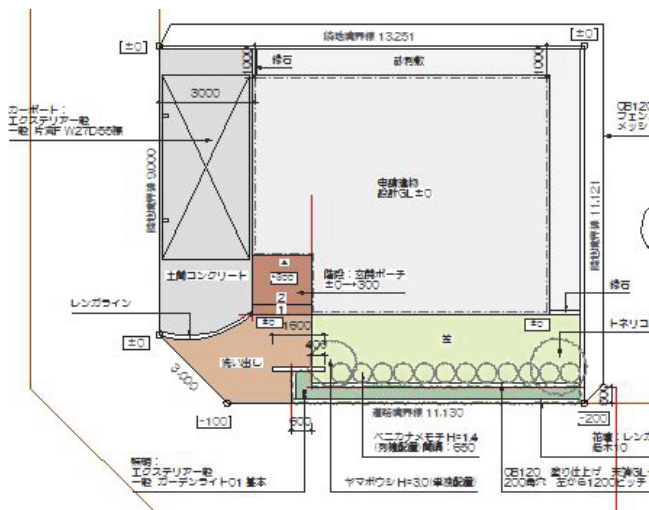
左図が出たら「OK」を押します。



①-2：レイヤを「注釈」にし、平面画像をクリックして選択します。



①-3：画面右下の「画像へ移動」をクリックします。



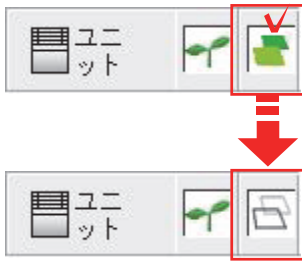
ユニットレイヤの図形が表示されます。



【色がついて画像が見えなくなった場合は・・・】

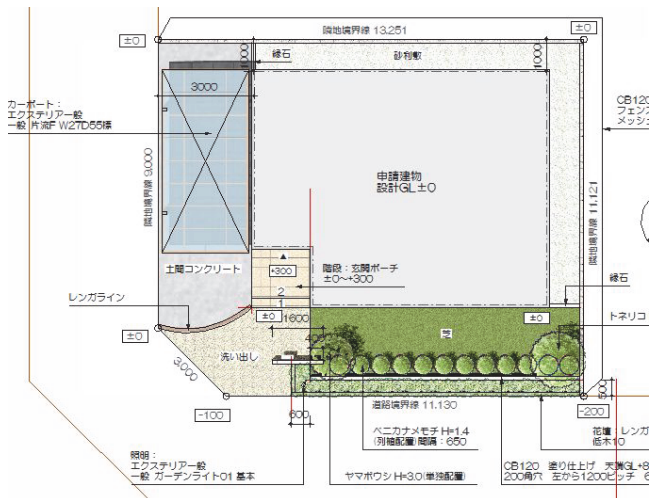
レイヤの表示方法がeE-CAD9.5から従来と変更されています。表示切替え手順は次ページをご覧ください。

②レイヤのカラー表示設定



ユニットレイヤの表示色の設定を変更します。

②-1：ユニットレイヤのカラー表示をクリックし、「モノクロ」にします。



ユニットレイヤの色が消えて、画像が表示されます。

必要があれば、敷地・基礎レイヤ、造園レイヤもカラー設定を変更します。